

# 新発見！フランスホテルの古写真



↑フランスホテル  
長崎外国語大学蔵

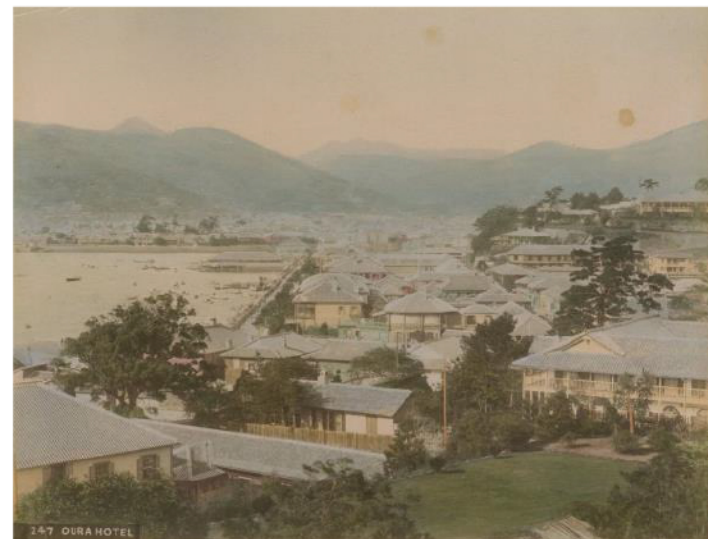
長崎外国人居留地には1863年頃に開業された日本最古のベルビューホテルをはじめ数多くの西洋式ホテルが立ち並んだ。日清戦争後、長崎は九州の国際貿易港となり、雲仙も保養地として整備されるようになると、アメリカ西海岸や香港・上海から多くの欧米観光客が来訪した。

これらを相手にナガサキ・ホテルやジャパン・ホテル、クリフ・ホテルといった本格的な西洋式ホテルの開業が相次いだ。

そして1903年、フランス人ジャン・ジュリアン・シロが、大浦33番の地に3階建てで豪華なレンガ造りのフランスホテルを開業した。

ホテルはロシア人とヨーロッパ人を主客とし、長崎で最も洗練された建造物の一つとされた。

左手に掲載の写真は長崎外国語大学所蔵の新出史料。奥に明治30年代に撮影されたフランスホテルと、手前に日清貿易商社首席代理人エドワード・ロジャースの和風洋館住宅を収める。



↑南山手からの眺め(右手前はベルビューホテル)  
Collection Christian POLAK